

堺の福祉

南区

COCO通信 第27号

社会福祉法人 堺市社会福祉協議会 南区事務所
 〒590-0141 堺市南区桃山台1丁1番1号(堺市南区役所1階) E-mail minami@sakai-syakyo.net
 ■地域活動推進係 TEL:072-295-8250 FAX:072-295-8260
 ■南基幹型包括支援センター TEL:072-290-1866 FAX:072-290-1886
 ■ブログサイト [南区事務所](#) [ブログ](#) [検索](#)

ボランティア情報特集!

ボランティア活動と担い手づくりのヒント

堺市社会福祉協議会 南区事務所はボランティア活動をする方の応援をしています!

今回は、南区内校区福祉委員会(19団体)、ボランティアグループ(49登録グループ)から希望の多かった「ボランティアのホトのところ」「担い手づくりと組織継続のヒント」をテーマに桃山学院大学 石田易司教授にお話を伺ってみました。

ボランティアと私たちの生活

教えて先生!!

大学卒業後、高校国語科教諭、新聞社勤務を経て1998年より現職。主な著書は『定年後のボランティア—中高年の新しい生き方』(明石書店、1999年)等



桃山学院大学社会学部 いしだ やすりの
社会福祉学科 石田 易司教授

子育てのときと親の介護が目の前に迫ったときに、お世話にならなければいけない状況になることを考え、その間の40歳前半半のゆとりのある期間に『自分もボランティア活動をする』という発想になっていることです。助けが必要なときに、求める側とボランティア側が無理なく手を取り合っている社会が今の日本のみなさんからも求められているように思います。

一方、日本のボランティア活動組織は、どこも活動者の高齢化が問題になっており、どの組織も「自分たちがこの活動をやめたら、このグループは解散してしまうのではないかと」危惧されています。実は、地域には「活動をしたい」という人は、身近にたくさんいます。それが、なかなか活動に繋がっていないというのが現状です。

「自分も楽しく!」が活動を続ける秘訣

ボランティア活動は「人のため」がもちろんキーワードですが、「人のために」と意気込みすぎると実は長く続きにくいのです。ボランティアは「相互性」でもあるので「自分が楽しく」活動できることが実は大切な秘訣です。

担い手育成のヒント

- 『人のためになる』だけではなく、『自分のためになる』という自分が楽しいと思える要素が必要
- 『自分のためになる』は、メンバーそれぞれが違う。メンバー間でそれを認め合う
- 新しいメンバーには、グループのルール通りに行動することを求めすぎない
- 「あなたがいてくれてうれしい」という言葉かけは、居心地のよいグループを育む
- 新しいメンバーは認められると、『人のためになる』ための行動や役割を自ら見出す
- メンバーの中には、意図的に足りないところをフォローする役割の人がいると良い

ボランティア活動や支え合い活動のご相談をお待ちしています!

ボランティア活動の相談、活動の悩みは堺市社会福祉協議会 南区事務所にお気軽にご相談ください。

あなたは、自分が生活をする上で「家族や近所に迷惑をかける」ことについて、どう思うでしょうか。私の経験上、日本では「家族や近所に迷惑をかけたくない」という人の割合が多い。一方オーストラリアでは、その割合が低くなります。オーストラリアでは、日本の介護保険と同じような制度がありますが、ボランティアに支えてもらうのが自然という文化があります。文化や宗教的背景もありますが、オーストラリアは日本に比べて生活とボランティア活動が身近にあり、近所やボランティアに支えてもらうことに抵抗感がありません。

支えあいの中で、自分も生きがいよろこびを感じられる

オーストラリアのボランティア世代調査によると、41~45歳代が最も多いというデータがあります。それは

参加者から寄せられた声

人のためにやることは、結局自分の幸せに繋がっていることが分かりました

受け入れる体制をつくることの大切さに気がきました



石田教授による講演(平成29年8月29日)

南区 高齢者すこやかフェア開催します!

~住み慣れた地域でいきいきとすこやかに暮らすために~

平成29年10月24日(火)~26日(木)の3日間

南区役所の1階エントランスホールで、認知症に関するパネル展を行います。

先着70名
予約制
無料

10月24日(火)午後2時~3時30分南区役所2階 201・202会議室では、『住み慣れた地域で認知症とつき合う~もの忘れが教えてくれるもの~』と題し、認知症疾患医療センター 阪南病院 川村吉彦医師の市民講座を行います。

当日は、個別相談も受け付けます。

皆さま、どうぞお誘いあわせの上、お申し込みください。

地域や職場で! 認知症サポーター養成講座を開催しませんか?

認知症を正しく理解し、認知症の方や家族を地域や職場で温かく見守る応援者となつていただく認知症サポーター養成講座は、地域や職場単位でのお申し込みが可能です。

お申し込みは堺市社会福祉協議会 包括支援センター統括課(TEL:238-3636)まで。お気軽にお問い合わせください。

南区では、6月16日午後7時より南区役所2階にて、南区認知症支援部会の主催にて、本講座を開催しました。

日中に時間が取れない方も「夜ならば」と31名の参加がありました。



ボランティアの気持ちをつなぐ活動です。

ボランティア相談員募集!



堺市社会福祉協議会 南区事務所では、南区ボランティア相談コーナーにおいて、ボランティア活動全般に関する相談など行っていただく「ボランティア相談員」を募集します。

募集要件(下記3点全てを満たす方)

- ①1年以上のボランティア活動経験がある方
- ②18歳以上概ね65歳までの方
- ③週2回程度の相談コーナーへの出務や月1回の相談員会議への出席が可能な方

「ボランティア相談員」は、無償のボランティア活動です。(※ 交通費の一部は支給されます)

お問合せ・お申し込みは、堺市社協南区事務所まで。